



野生植物研究所だより



～ 石巻市田代島 紹介 ～

石巻市田代島にシダ植物の調査で、1月5日に行ってきましたので紹介します。

● 田代島とは ●

田代島は、北上川河口から東南に約15kmの海上にあり、周囲11.5kmの小さな島です。大泊と仁斗田の二つの集落からなり、人口は約100人ということです。以前は、小中学校もあったのですが、網地島同様、廃校となり、年寄りだけの島となっています。

● カワラナデシコとフキノトウ ●

今回は、大泊の方を歩きました。ニ鬼城灯台へ向う途中に、カワラナデシコの花が一輪だけでしたが咲き、また、フキノトウも、昨年から咲き出したと思われるものが沢山出ていました。



一輪だけ、カワラナデシコ



フキノトウ



● 北限のシダ ウラジロとマメヅタ ●



ウラジロ

ウラジロ科ウラジロは、正月のお飾りに用いますが、東北では見ることができないといってもよいほど、分布上、稀なシダです。東北では、福島県南部、山形県小国町(地崩れのため壊滅してしまった)が知られ、宮城県では田代島が唯一の生育地ということで、北限ともなっています。

また、ウラボシ科マメヅタは、宮城県では網地島や金華山などに生育しており、宮城県の河北町長面が北限となるシダ植物です。田代島では、大六天神社の脇の岩場やタブノキの根元のものが見事です。



マメヅタ



タブノキの根元のマメヅタ